

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	理学療法管理学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	月・1限目
担当教員	笠原 靖子				
授業概要	理学療法士として得られた知識や技術を患者に提供する際に必要な管理、マネジメントができる能力を身に付ける。医療技術職としての理学療法士にとどまらず、社会人として世に出て実生活を営むうえで欠かせない基礎的な知識の習得を行っていく。社会保障をはじめとし、年金、社会人として経済的に自立していくうえで必要な知識を学んでいきます。				
学習目標	① 知識や技術を患者さんに提供する際に必要な管理、マネジメントの能力を身に付ける。 ② 医療・介護などの諸制度について理解することができる。 ③ 社会人として実生活を営むうえで不可欠な知識を得る。 ④ 社会保障の仕組みを知り、経済的に自立する基礎的な知識の理解する。				
回数					担当教員
1回目	総論	理学療法管理学の概要について理解する			笠原 靖子
2回目	病院の分類	医療機関の分類と組織の機能について理解する			笠原 靖子
3回目	専門職とチームケア	専門職と事務職の役割、診療報酬上のチーム医療を理解する			笠原 靖子
4回目	社会保障のしくみ	日本の社会保障の構成要素とその役割を理解する			笠原 靖子
5回目	医療保険制度	理学療法業務に必要な医療保険制度を理解する			笠原 靖子
6回目	介護保険制度	理学療法業務に必要な介護保険制度を理解する			笠原 靖子
7回目	診療・介護報酬	リハビリテーション分野における収益の構造を理解する			笠原 靖子
8回目	保険・医療の連携	保健医療の連携と介護・福祉のかかわりについて理解する			笠原 靖子
9回目	まとめ	小テスト、授業の復習			笠原 靖子
10回目	業務管理・情報管理	PT業務の概要、臨床業務の情報、記録の意義と管理を理解する			笠原 靖子
11回目	リスク管理	「医療安全」とリスク管理について理解する			笠原 靖子
12回目	感染症管理	医療・介護施設における感染管理について理解する			笠原 靖子
13回目	権利・職業倫理	患者の権利擁護と職業について理解する			笠原 靖子
14回目	教育管理/政治関与	実習、国家試験、生涯学習、医療・介護と政治・政策を理解する			笠原 靖子
15回目	まとめ	小テスト、授業の復習			笠原 靖子
教科書及び参考書	15レクチャーシリーズ 理学療法管理学				
成績評価	定期試験(70%)、小テスト2回(15%×2)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
理学療法士として、医学的な知識のみではなく仕事をしていく上での管理・マネジメントができる能力を身に付けていきましょう。また、社会人として世に出て実生活を営む上での社会保障の仕組みなどを理解しておくことも将来必要となってきます。慣れない言葉や、用語が多々出てくるとは思いますが一つずつ考えて理解していきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
理学療法士として現場の仕事を行い、通所リハビリの責任者として様々な管理業務を担当させていただきました。介護保険においては、多職種の方々・利用者さまのご家族等との会議や話し合いの場に参加してまいりました。今後、高齢社会においてはますます介護保険制度や社会保障制度の知識を深めていく必要があると思います。基本的なことから勉強していきましょう。					

社会調査法(3091)		室山 俊浩		併修科目・必修		
				3年		
				PT・OT 月曜2限		
授業のねらい	本科目では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習するが、社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本科目の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。本科目を学習することにより、社会調査の重要性、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。					
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。					
設 題	レポート 1 (ポイント)	社会調査および社会福祉調査の性格についてまとめ、量的調査(統計調査)と質的調査(事例調査)の相違について述べてよ。	下書	月 日 ()		
	レポート 2 (ポイント)	社会調査、社会福祉調査それぞれの意義と目的をよく理解した上で、社会調査、社会福祉調査の基本的性格をまとめること。また、量的調査(統計調査)と質的調査(事例調査)それぞれの調査方法についてまとめ、両者の相違点について考察すること。	清書	10月 23日(月)		
	科目終了試験	学習のポイント 2 全数調査と標本調査の特徴および標本抽出法について 学習のポイント 3 質問紙の作成方法と留意点について 学習のポイント 1 社会調査における倫理と個人情報保護について	科目終了試験 12月 4日(月) 実施予定			
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
	1	社会調査の基礎				
2	社会福祉調査の性格					
3	量的調査・質的調査					
4	量的調査と質的調査の相違					
5	清書レポート作成					
6	学習のポイント 2 全数調査と標本調査の特徴および標本抽出法について					
7	学習のポイント 3 質問紙の作成方法と留意点について					
8	学習のポイント 1 社会調査における倫理と個人情報保護について					
9	データ分析					
10	調査における誤差					
11	科目終了試験対策					
12	「社会調査法(3091)」科目終了試験(持ち込み不可)					
	期末試験					
成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点	レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学習のポイントのメッチは厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。					

更生保護(3211)		大兼健寛		併修科目・必修	
				3年	
				PT・OT 月曜 3限	
授業のねらい	更生保護制度の概要と保護観察におけるダブルロールについて学ぶ。				
	日本の刑事政策における仮釈放制度や、保護観察制度の多面的側面について学ぶ。				
	更生緊急保護という、特殊な状況下における更生保護処遇について学び、現代社会における刑事政策と福祉政策の在り様について学ぶ。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	刑事政策における更生保護の意義と保護観察におけるダブルロールについて述べよ。	清書	11/6 (月)授業内	
	(ポイント)	我が国の刑事政策において更生保護制度が担っている役割、機能を中心に論述し、保護観察は本人の行動を統制、制限する権力的側面とその社会復帰を援助する両側面について、これをダブルロールという言葉を用いてより具体的に述べること。			
	レポート 2		清書		
	(ポイント)				
科目終了試験	学修のポイント1・仮釈放について 学修のポイント2・保護観察について 学修のポイント4・更生緊急保護について			科目修了試験12月4日(月) 実施予定	
1	更生保護制度とは？				
2	更生保護におけるダブルロール				
3	保護観察とは？				
4	保護観察におけるダブルロール、清書レポート作成				
5	清書レポート作成				
6	学修のポイント1・仮釈放等について				
7	学修のポイント2・保護観察について				
8	学修のポイント4・更生緊急保護について				
9	グループワーク①				
10	グループワーク②				
11	科目終了試験対策				
12	科目終了試験				
	期末テスト				
成績評価	出席率	80%以上の出席率であること。それに満たない場合、別途課題レポートを提出すること。			
備考	授業中にレポート作成時間を設けはしますが、時間の都合上、満足できるほどの時間は作れないかと思えます。そのようでありますので、自身の時間を効率よく活用し、レポート作成を行ってください				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、80%以上が求められます。80%を下回るとことになれば、別途課題の提出を求めます。				

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 内部障害Ⅱ (循環・老年)	授業 形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	火曜・1限
担当教員	平間 亮				
授業概要	正常な循環機能を復習し、検査の方法を理解します。また高齢者の身体機能がどのように低下していくのかも理解します。障害や状態に合わせて理学療法士にできることは何なのか、評価やプログラムを立てる理学療法士の思考について、また御本人や御家族がどう現状を受け止めていくのか学習します。				
学習目標	①循環機能、加齢に伴う身体機能変化の知識を深める。 ②循環機能が障害されるとどうなるのか、加齢に伴い身体機能がどうなるのか、治療や予防方法を理解する。 ③「心大血管リハビリテーション科」の対象となる疾患と老年期の評価、プログラムを立案できる。				
回数					担当教員
1回目	循環器の解剖・整理・主要症候についての復習				平間 亮
2回目	循環器の検査(血圧、脈拍、心電図)について				平間 亮
3回目	不整脈と心電図について(正常と異常の違い)				平間 亮
4回目	心不全について(左心不全、右心不全の違い、検査、重症度分類、)				平間 亮
5回目	心不全の理学療法プログラムの検討				平間 亮
6回目	虚血性心疾患(狭心症と心筋梗塞)について				平間 亮
7回目	小テスト、まとめ				平間 亮
8回目	心臓弁膜症・心内膜炎(大動脈・僧帽・三尖・肺動脈弁の狭窄・閉鎖不全症について)				平間 亮
9回目	大動脈留・解離、末梢動脈疾患、ASO、Buerger病について				平間 亮
10回目	静脈・リンパ管疾患(下肢静脈瘤、深部静脈血栓症)について				平間 亮
11回目	先天性心疾患(心室中隔欠損、Fallot四徴候、三尖弁閉鎖症など)について				平間 亮
12回目	運動処方、再発予防とチーム医療、一時救命処置、心電図				平間 亮
13回目	小テスト、まとめ				平間 亮
14回目	老年期(ロコモティブシンドローム)の理学療法プログラムの検討				平間 亮
15回目	老年期(フレイル、サルコペニア)の理学療法プログラムの検討				平間 亮
教科書及び 参考書	①病気がみえる Vol.2循環器 ②最新理学療法講座 内部理学療法学 講義配布資料				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト2回(20%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
心疾患は日本の死因の第2位と死因の約15%を占めています。しかし、そのほとんどの原因は生活習慣の改善から防ぐことができます。理学療法士は病院内で他の医療スタッフよりも患者と関わる時間が長く、生活習慣についても語り合う機会が多いです。「タバコくらい大丈夫ですよ。」「退院したら好きなもの食べましょう。」など不用意な発言はせずに、適切なアドバイスをできるようにしましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
病院、クリニック、デイサービス、訪問リハビリテーション等で働いた経験から得た知識を活かし、教科書の知識だけでなく、実際の臨床ではどのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていきます。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 内部Ⅲ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	火曜日・2限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	<p>栄養素は生命活動や作業に必須のエネルギー源であり、栄養管理なくして身体組織も活動や作業も成立しません。一方、この栄養摂取とエネルギー代謝障害の代表的な疾患である糖尿病は、世界で最も罹患人口が多いと言われています。本講義では糖尿病を中心に脂質や尿酸などの代謝障害を学びその病態や発症メカニズムと症状、検査および診断、治療に対する考え方を学びます。</p>				
学習目標	<p>①栄養素の同化と異化、エネルギー供給系を理解する。 ②代謝、内分泌系疾患、腫瘍の定義、種類、特徴などを理解する。 ③代謝、内分泌系疾患、腫瘍に対する運動療法の意義や基本的考え方を理解する。 ④代謝、内分泌系疾患、腫瘍に対するリスク管理について理解する。 ⑤代謝、内分泌系疾患、腫瘍の国家試験を理解する。</p>				
回数					担当教員
1回目	総論(同化と異化、三大栄養素の消化酵素、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系等)				水野 靖廣
2回目	エネルギー代謝(呼吸商、代謝当量、基礎代謝、特異動的作用、エネルギー代謝率等)				水野 靖廣
3回目	体温調節(正常体温、体温調節、部位別の熱産生、調節機序、体温上昇による生体反応等)				水野 靖廣
4回目	糖代謝総論(糖の役割・利用、インスリンの作用、血糖調節とホルモン、GULT4等)				水野 靖廣
5回目	糖代謝異常(病態、1型・2型糖尿病の発症機序、症状・臨床所見、検査・診断・治療等)				水野 靖廣
6回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての調べ学習				水野 靖廣
7回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての発表、確認問題				水野 靖廣
8回目	肥満症(肥満の種類、判定方法、コレステロールの分類、メタボリックシンドローム等)、骨代謝等				水野 靖廣
9回目	確認テスト まとめ及び共有①				水野 靖廣
10回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての調べ学習				水野 靖廣
11回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての発表、確認問題				水野 靖廣
12回目	腫瘍について(定義、分類、形態、進展形式、原因とメカニズムなど)				水野 靖廣
13回目	腫瘍について(理学療法士・作業療法士との関連事項など)、確認問題				水野 靖廣
14回目	確認テスト まとめ及び共有②				水野 靖廣
15回目	定期試験対策				水野 靖廣
教科書及び参考書	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌(発行者 岡西 豊、出版社 メディックメディア)				
成績評価	定期テスト80%、小テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>代謝疾患は脳血管障害などの合併症として、臨床で頻繁に対応を求められる学問であり、国家試験においても多く出題される学問ですので理解することが必要です。そのためには基礎科目である生理学をしっかりと復習しておく必要があります。本講義において分からない点がある場合は積極的に質問して頂くのと同時に生理学を振り返りましょう。</p> <p>なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。</p> <p>授業内容及び進度は、理解度に応じ生理学の振り返りやコロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>理学療法士として整形外科クリニックで高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、エネルギー供給機構から糖尿病をはじめとした様々な代謝疾患及び内分泌疾患の成因からアプローチ方法、リスク管理を指導する科目である。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形外科Ⅳ	授業形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	火・4限目
担当教員	笠原 靖子				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科疾患の基本的な知識を整理する。理学療法士として整形外科疾患の基本的な治療を学ぶ。 ・基本的な評価を確認しながら、整形疾患別に必要な評価方法を学ぶ。 ・運動器疾患に対する治療を立案し実際に実技を行う 				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 下肢の疾患に対する評価・治療について実践できる ② バランス・協調性・姿勢障害・筋力低下に対する運動療法を実践できる ③ レッドコードを使つての治療を学ぶ 				
回数					担当教員
1回目	総論・整形外科で多く見られる疾患について				笠原 靖子
2回目	症例を考える ①：下肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
3回目	症例を考える ②：下肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
4回目	症例を考える ③：下肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
5回目	症例を考える ④：下肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
6回目	症例を考える ⑤：下肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
7回目	バランス・協調性に対する運動療法の実践				笠原 靖子
8回目	まとめ、小テスト：下肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
9回目	症例を考える ①：上肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
10回目	症例を考える ②：上肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
11回目	症例を考える ③：上肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
12回目	姿勢障害・筋力低下にたいする運動療法の実践				笠原 靖子
13回目	まとめ、小テスト：上肢の疾患に対する評価・治療について				笠原 靖子
14回目	実習：レッドコードを使つての治療を学ぶ（実践）				笠原 靖子
15回目	症例を考える①：体幹の疾患に対する治療について				笠原 靖子
教科書及び参考書	運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 理学療法評価学 改訂第6版 金原出版(株) その他必要な資料を随時配布します				
成績評価	定期試験(70%)、小テスト2回(15%×2)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減) 態度不良は減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
日常生活でよく目にしたり、聞いたことのある疾患を症例をもとに、評価・治療の立案を試してみましよう。治療に関しては、実際にどんな治療を行い、どこに注意をしたら良いか考えましよう。整形外科やクリニックにおいても整形疾患は私たち理学療法士が多々携わることとなります。国家試験でも多くの問題が出題されます。評価実習や総合実習においても実際に担当する場面も出てくると思ひます。知識の整理をしながら、評価と治療を一緒に学んでいきたいと思います。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
地域の整形外科で理学療法士として仕事をしてまいりました。骨折や靭帯損傷など、保存治療を中心にリハビリを実施。その他、高齢者の変形性関節症、慢性疼痛疾患などの患者様を診てまいりました。一般的なリハビリの治療を実際に行いながら学んでいける授業にしたいと思ひます。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 小児	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT3年
				曜日・時限	水1時限
担当教員	原田隆之				
授業概要	子どもの正常発達を学び、発達段階を理解していく。また、姿勢制御機構(原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応)の発達を学ぶことで、リハビリ内容とリンクさせて考えられるようにする。各種疾患による、障害の特徴を理解し、評価や治療へと展開していく。授業では、動画を多く取り入れ、イメージがつくように行っていく。				
学習目標	①正常発達の月齢を理解し、発達段階を予測できるようになる。 ②姿勢制御機構(原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応)について理解し、説明出来るようになる。 ③脳性麻痺などの各種疾患の障害像を理解し、適切な評価・治療が行えるようになる。				
回数				担当教員	
1回目	小児理学療法概論、運動発達理論(神経成熟理論、アフォーダンス理論、ダイナミックシステムズ理論)			原田 隆之	
2回目	胎児期の行動メカニズムについて			原田 隆之	
3回目	運動発達概論と各種評価法(発達検査と運動発達検査)について			原田 隆之	
4回目	正常運動発達(出生から歩行獲得までの発達過程)について			原田 隆之	
5回目	姿勢制御機構の発達1(原始反射・姿勢反射)について			原田 隆之	
6回目	姿勢制御機構の発達2(立ち直り反応・平衡反応)について			原田 隆之	
7回目	運動発達, 姿勢反射演習・実技			原田 隆之	
8回目	脳性麻痺1(概念、疫学、原因と病理、各種分類)について			原田 隆之	
9回目	脳性麻痺2(痙直型における、評価と介入)について			原田 隆之	
10回目	脳性麻痺3(アトーゼ型における、評価と介入)について			原田 隆之	
11回目	重症心身障がい児(概要、症状、評価と介入)について			原田 隆之	
12回目	子どもの整形外科的疾患(二分脊椎、骨端症、先天性骨関節疾患)について			原田 隆之	
13回目	子どもの遺伝性疾患(筋ジストロフィーに対する評価と介入)について			原田 隆之	
14回目	知的障がいの概念と定義、ダウン症に対する評価と介入について			原田 隆之	
15回目	障がい倫理・親の想いについて			原田 隆之	
教科書及び参考書	小児理学療法学テキスト(南江堂) 講義配布資料				
成績評価	1. 筆記試験(90%) 2. 学習態度(10%) 以上を総合的に判断して、6割以上を合格とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>現在、出生数は減少している中、医療の発展、高齢出産等の理由により、障がいを抱えているお子さんは増加しています。しかし、小児理学療法を受けられる社会資源は、充足していません。理学療法士を必要とされている領域です。小児理学療法に対して苦手意識を持たず、学習に取り組んでいきましょう。</p> <p>積極的に授業に参加し、疑問点などあればその場で解決出来るように質問してください。また、授業の終わりに確認テストを行ない、その都度理解度をみていきます。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>一般社団法人Re Smileでは、2012年に制度化された放課後等デイサービス(障がい児が学校後や休日に通う施設)において、全国でも珍しいリハビリに特化した運営を行なっています。講義の中では、利用児・ご家族の協力を得て、写真・動画を駆使しながら、実際のリハビリ現場をイメージしやすいように行なっていきます。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	日常生活動作学・生活環境論	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	水曜日・2限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	ADLは人間が自立して生活するために日々繰り返される動作である。しかし、治療や支援が必要な人にとっては福祉道具や動作を実施する環境などによっても影響を受ける。そのため、本講義はADLの基礎的な知識から評価、疾患別の動作の理解をADL指導に繋げ生活環境まで幅広い知識を学んでいきます。				
学習目標	①ADL評価を理解する ②自助具・補装具、車椅子等生活支援に関わる道具を理解する ③基本動作に必要な運動を理解する ④各疾患のADLの特徴及び介助方法を理解する ⑤国家試験の出題範囲及び内容を理解する				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、総論、ADLの概念・位置づけ、ADL支援の今後の課題など				水野 靖廣
2回目	ADL評価(機能評価の目的、障害分類法、国際障害分類、国際生活機能分類など)				水野 靖廣
3回目	ADL評価(国際生活機能分類、国際生活機能分類のコード分類・数字の対応など)				水野 靖廣
4回目	ADL評価(機能評価の評価一覧、能力低下の評価一覧、Barthel indexなど)				水野 靖廣
5回目	FIM(採点対象、運動項目の採点基準、認知項目の採点基準、ルール、調べ学習など)				水野 靖廣
6回目	FIM 発表(セルフケア、排泄コントロール、移乗・移動、コミュニケーションなど)				水野 靖廣
7回目	FIM 発表(社会的認知、国家試験確認問題など)				水野 靖廣
8回目	ADLを支援する機器(T字杖、オフセット杖などの補講補助具、Pauwelsのてこの理論など)				水野 靖廣
9回目	確認テスト まとめ及び共有①				水野 靖廣
10回目	人工股関節術後の日常生活活動(脱臼肢位、ソケットネックインピンジメント、起居動作など)				水野 靖廣
11回目	慢性関節リウマチの日常生活活動(関節保護とエネルギーの節約、自助具など)				水野 靖廣
12回目	脳卒中片麻痺の日常生活活動(起居動作、移乗動作、更衣動作、歩行など)				水野 靖廣
13回目	parkinson病の日常生活活動(Yahrの重症度分類、on-off現象、ウェアリングオフ現象など)				水野 靖廣
14回目	生活環境論について(平面図の見方、玄関スロープの勾配、階段・上がり框の高さなど)				水野 靖廣
15回目	確認テスト まとめ及び共有②				水野 靖廣
教科書及び参考書	・標準PT 専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第4版(鶴見 隆正編集、医学書院出版) ・脳卒中の機能評価 SIASとFIM[基礎編](千野 直一編集、金原出版株式会社出版)				
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
座学のみでなく実技を交えて展開していきます。そのため皆さんの協力が必要となります。 ADLは解剖学、生理学に並び理学療法において「要」となる学問です。当然、国家試験においても出題率が非常に高いです。 また、臨床実習で問われる疾患別の起居動作、歩行、応用動作なども学んでいきます。実習や国家試験などADLの重要性を理解し積極的に取り組み1回1回の授業を大切にしてください。 なお、授業内容及び進度は皆さんの理解度や感染症の状況などで随時変更する場合があります。その際は事前に連絡します。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
理学療法士として整形外科クリニックで高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、ADLの評価をはじめ様々な疾患に対応した指導を理解しアプローチ方法、リスク管理を指導する科目である。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	義肢装具学	授業 形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	木曜・1、2限
担当教員	廣島 淳				
授業概要	義肢・装具の変遷、近年の適応、名称、種類及び構造、機能評価法を学び、義肢を使用する切断患者のリハビリテーションや装具を使用するリハビリテーションの実際について学習する。				
学習目標	①装具の種類、構造、機能、適応について説明できる。 ②義肢の切断部位に対する種類、構造、機能、適応について説明できる。 ③各疾患に対して使用する装具のデザインと目的、必要な評価、使用方法を説明できる。 ④目的に合わせて、簡単な装具を製作できる。				
回数					担当教員
1回目	義肢装具総論、リハビリテーションにおける義肢装具の役割 P190～194				廣島 淳
2回目	義肢装具の支給体系、健康保険の仕組み、医療従事者の関連性 P18、P65～79、P190～194				廣島 淳
3回目	体幹装具 体幹装具に関する基礎知識と症例に対する装具療法の展開 P194、P276～277、P348				廣島 淳
4回目	体幹装具 P194、P197～198、P272～287、P292				廣島 淳
5回目	上肢装具 指、MP、対立、手関節 P192、P197～199、P209、P214、P300～302、P307～P341、P348～350				廣島 淳
6回目	上肢装具 把持、肘、肩 P192、P207～209、P213～216、P248～249、P257～259、P300、P314～315、P332～341、P348～349				廣島 淳
7回目	演習 手関節装具の製作（プリント）				廣島 淳
8回目	演習 手関節装具の製作（プリント）				廣島 淳
9回目	下肢装具 足底装具 演習（フットプリント） P193、P265～271、P298～299、P346～348				廣島 淳
10回目	下肢装具 短下肢 P193、P203～207、P210～214、P222～224、P238～239、P251～252、P255～256、P303～304、P346～347				廣島 淳
11回目	下肢装具 膝、長下肢 P193、P201～206、P209～226、P239～241、P249～250、P252～P255、P302～P304、P342～346				廣島 淳
12回目	下肢装具 小児、靴型 P193、P217～P247、P260～271、P288～296				廣島 淳
13回目	義足概論 義足の基礎知識 P70～79、P120～P188				廣島 淳
14回目	義足概論 義足の基本構造 チェックポイント P120～188、P357～358				廣島 淳
15回目	義手概論 義手の基礎知識 P65～68、P70～119、P357～358				廣島 淳
教科書及び 参考書	義肢装具学(医学書院) 義肢装具のチェックポイント(医学書院) 手のスプリントのすべて(三輪書店)				
成績評価	筆記試験(80%) 出席率(10%) 授業態度(10%) で評価する				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
授業では実物の義肢・装具を使用し回覧しますので、動かしてみたり、装着してみたりして、質感やデザイン、ベルトの位置などをよく観察して理解を深めて下さい。義肢・装具に興味を持ち、疑問点は積極的に質問をして下さい。 尚、睡魔に襲われた時には、教室の横や後ろに立って聞くなり、トイレに行って顔を洗うなり自分自身で工夫して下さい。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
医療機関等で義肢装具士として現在活躍中である非常勤講師が体験談などを交え、義肢装具の概要を講義し、演習では実際に装具製作を体験し、必要な知識を学ぶ科目である。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	理学療法概論 研究法 II	授業形態	講義 演習 ・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	木曜日・3限
担当教員	村田 薫克 水野 靖廣 後藤 洋平 笠原 靖子 平間 亮				
授業概要	研究の大切さを把握し、研究の進め方、研究上の常識、ルール等を習得することができるようになります。研究を行う事は、臨床で患者様についてどのように治療していくのかを考える事と同じような過程で進めていきます。いろいろな角度から物事を自由に考え、問題発見、問題解決できる思考過程を促しましょう。				
学習目標	1.研究計画書の修正をすることができる。 2.実験に対して安全性やリスク管理を考慮して実施することができる。 3.実験結果から成果の集積、分析・考察をすることができる。 4.仮説の立証から研究報告書の作成・プレゼンテーションができる。				
回数		担当教員			
1回目	研究計画書の修正と実験内容の修正①: 文献検索やプレ実験の実施	村田/水野/後藤 笠原/平間			
2回目	研究計画書の修正と実験内容の修正②: プレ実験による実験方法の修正と本実験の準備	村田/水野/後藤 笠原/平間			
3回目	研究の実施①	村田/水野/後藤 笠原/平間			
4回目	研究の実施②	村田/水野/後藤 笠原/平間			
5回目	研究の実施③	村田/水野/後藤 笠原/平間			
6回目	研究の実施④	村田/水野/後藤 笠原/平間			
7回目	研究の実施⑤	村田/水野/後藤 笠原/平間			
8回目	研究結果の集積①: 研究結果の集積からデータ抽出	村田/水野/後藤 笠原/平間			
9回目	研究結果の集積②: データ抽出からの統計解析	村田/水野/後藤 笠原/平間			
10回目	発表用レジメ及びスライドの作成①: レジメ・スライドの作成①	村田/水野/後藤 笠原/平間			
11回目	発表用レジメ及びスライドの作成②: レジメ・スライドの作成②	村田/水野/後藤 笠原/平間			
12回目	発表用レジメ及びスライドの作成③: プレ発表の実施と修正	村田/水野/後藤 笠原/平間			
13回目	発表用レジメ及びスライドの作成④: プレ発表後の修正と最終完成	村田/水野/後藤 笠原/平間			
14回目	研究結果発表会①	村田/水野/後藤 笠原/平間			
15回目	研究結果発表会②	村田/水野/後藤 笠原/平間			
教科書及び参考書	標準理学療法学 理学療法研究法 配布資料(随時)				
成績評価	発表会、レポート: 60%、研究結果報告、途中経過の提出: 30% 態度: 10%: 授業中の質問なども加点に加える場合があります。 また、欠席1回 3点、遅刻1回 1点減点します。配布資料を忘れた場合も減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に研究をすることで、研究の面白さを体験してください。 ・本校にあります3次元動作解析装置、超音波診断装置、筋電図、呼気ガス分析器など最新機器を用い実験を行います。 ・最近、卒業後どの施設でも研究発表が一般的に行われるようになってきました。今のうちに、最新鋭の機器を使えるようになると就職先でも仕事が進めることができると考えます。 ・全員で協力して一つの研究発表を作り上げましょう。 					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>研究をすることによって理学療法の難しさ、奥深さ、何より面白さを体験することが出来ます。また、勉強や臨床で明らかにされていないことを自分自身で追求していくことができます。実際に行う際に躓いてどうしてよいかわからないことがあると思いますが、方法論も含めて1つの完成形にいきましょう。基本的にはグループで協力し合い実施していきますので、身勝手な行動は控え全員で助け合って一つの成果物を仕上げましょう。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 中枢Ⅳ	授業形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	金曜・1, 2限
担当教員	鈴木 研				
授業概要	疾患別の運動療法演習ということで、これまでに学んだ知識を確認しながら、今後に予定される臨床実習、さらには、卒後の現場で役立つ症例への介入方法を学ぶ機会にします。 模擬患者さんの準備、設定には限界があるため、著作権フリーの動画も用いたり、参考にすべきエピソード、文献を提供します。				
学習目標	①臨床実習を想定し、その準備として位置付けていただきたいです。 ②脳血管障害片麻痺患者特有の症状、動作内容などを理解していただきたいです。 ③基本的な治療、介助方法を習得し、安心して安全な介入を目指す参考にしていきたいです。 ④代表的な神経難病疾患についても理解していただきたいです。				
回数					担当教員
1回目	臨床実習に向けての準備と実習施設の状況				鈴木 研
2回目	脳血管障害片麻痺に関する確認、振り返り				鈴木 研
3回目	脳血管障害発症後の二次的障害についての理解と介入方法①				鈴木 研
4回目	脳血管障害発症後の二次的障害についての理解と介入方法②				鈴木 研
5回目	関節可動域運動、筋力強化、促通方法について①				鈴木 研
6回目	関節可動域運動、筋力強化、促通方法について②				鈴木 研
7回目	ADL動作内容の理解と動作援助、介助方法①				鈴木 研
8回目	ADL動作内容の理解と動作援助、介助方法②				鈴木 研
9回目	ADL動作内容の理解と動作援助、介助方法③				鈴木 研
10回目	Pusher現象の紹介				鈴木 研
11回目	リスク管理について				鈴木 研
12回目	ご家族への指導、退院先へのサマリー記載について				鈴木 研
13回目	神経難病について				鈴木 研
14回目	神経難病について				鈴木 研
15回目	これまでのまとめ、振り返り、試験対策				鈴木 研
教科書及び参考書	指定なし。				
成績評価	演習中(講義中)の取り組み姿勢(30%)、期末テストの結果(70%)、出席(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
臨床実習をかなり意識した演習で、実験的な要素もありますが、決して受け身にはならず、より積極的な取り組みをお願いしたいです。 実際に罹患した患者さんたち、そのご家族が何に戸惑い、困っているのかも知るべきだと思いますので、その点もお伝えしたいところです。 あと、実習施設に勤務している理学療法士のサンプルとしても関わってもらい、疑問、質問を遠慮なく口にしてもらえると、こちらも参考になります。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
これまでの現場での症例経験の内容だけでなく、実習生への指導、若手セラピストへの指導経験も活かして行きたいと考えています。 興味をひきつけるために臨床実習、卒後の不安を煽るのではなく、前向きに臨めるような情報も提供したいです。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	理学療法学科 3年
				曜日・時間	金曜日 3限
担当教員	後藤 洋平				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科の基本的な知識を整理しながら、理学療法士としてのリハビリテーションの方法(運動器疾患に対する)を学ぶ。 ・実際の運動器疾患に対する評価方法を実技を用い学ぶ。(基本的な評価法を理解し運動器疾患に応用する) ・疾患別の運動器疾患に対する治療を学ぶ。 				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 整形外科疾患の病態の理解を行う。 2. 整形疾患に対するリハビリテーション全般の整理を行う。 3. 運動器疾患に対する評価を学ぶ。 4. 運動器疾患特有の運動療法を学ぶ。 5. 実習で実施できる基本的な評価・治療をみにつける。 				
回数					担当教員
1回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)①				後藤 洋平
2回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)②				後藤 洋平
3回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)③				後藤 洋平
4回目	運動器の評価(医療面接、急性期の評価、四肢体幹反測定、検査結果の解釈)				後藤 洋平
5回目	運動器理学療法の治療(総論、筋機能障害、疼痛管理等)②				後藤 洋平
6回目	小テスト①(講義:1~5回) まとめと振り返り				後藤 洋平
7回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①				後藤 洋平
8回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②				後藤 洋平
9回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①				後藤 洋平
10回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②				後藤 洋平
11回目	小テスト②(講義:7~10回) まとめと振り返り				後藤 洋平
12回目	脊椎椎体骨折(評価、治療、保存療法、術後理学療法)				後藤 洋平
13回目	関節リウマチ(評価、治療、保存療法、術後理学療法)				後藤 洋平
14回目	肩関節疾患(評価、治療、保存療法、術後理学療法) 上肢骨折まとめ				後藤 洋平
15回目	小テスト③(講義:12~14回) まとめと振り返り				後藤 洋平
教科書及び参考書	最新理学療法講座 運動器理学療法				
成績評価	定期テスト70%、提出物・小テスト30% 欠席(-3点)、遅刻(-1点)、態度不良、および教科書、配布資料を忘れた場合は減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>整形外科疾患(運動器疾患)は、実習にて対象となる最も多い疾患の1つです。また国家試験でも多くの関連する問題が出題されます。</p> <p>また、日常でも自身の痛みまたは家族の関節の痛みも理解できるようになります。問題がある関節に対し、医療機関で診断を受け、自身でもトレーニングし改善できる知識を身につけていただければと考えます。</p> <p>1月から始まる実習に対しても、知識を整理し、実習でもスムーズに実技が進められるよう集中して取り組んでいきましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>整形外科疾患(運動器疾患)は、臨床でも多く見る疾患です。評価実習でも多くの学生が関わります。基礎知識を整理し、問題点が抽出できるようにしっかりと学ぶようにしてください。また、皆様が臨床に出た後も役立つような授業にしていきたいので協力して授業を作っていきます。</p>					

2023年度前後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	評価実習事前・事後指導	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次 曜日・時限	PT I 3年 不定期
担当教員	後藤 洋平 村田 薫克 水野 靖廣 笠原 靖子 平間 亮				
授業概要	本講義では評価実習に向けて症例レポートの作成方法から学び、実際に実施してその結果をまとめて形にすることを学びます。そこで、各疾患についての基本知識に始まり、それに合わせた評価方法の選択・実施から結果の考察についての一連の流れを学びます。				
学習目標	1.評価実習に対して基本的な心構えを理解する。 2.評価実習に必要な知識や評価技術を学ぶ。 3.評価実習中やこの講義において学んだことを形にすることができる。				
回数					担当教員
1回目	症例レポートのスケジュール・流れの説明				後藤 洋平
2回目	症例レポート① 基礎・医学情報について				後藤 洋平
3回目	症例レポート② 理学療法評価について				後藤 洋平
4回目	症例レポート③-1 理学療法評価について 各評価の意義を考える				後藤 洋平
5回目	症例レポート③-2 理学療法評価について 姿勢・アライメント観察、動作観察について				後藤 洋平
6回目	症例レポート④ 問題点・統合と解釈について 症例レポート課題の提示				後藤 洋平
7回目	評価実習に向けたオリエンテーション クエスチョンバンク課題範囲① 自己学習				後藤 洋平
8回目	課題範囲① 確認小テスト クエスチョンバンク課題範囲② 自己学習				後藤 洋平
9回目	課題範囲② 確認小テスト クエスチョンバンク課題範囲③ 自己学習				後藤 洋平
10回目	課題範囲③ 確認小テスト クエスチョンバンク課題範囲④ 自己学習				後藤 洋平
11回目	課題範囲④ 確認小テスト 小テスト4回分振り返り				後藤 洋平
12回目	評価実習に向けた評価実技①				後藤 洋平
13回目	評価実習に向けた評価実技②				後藤 洋平
14回目	評価実習後のお礼状の作成やまとめ①				後藤 洋平
15回目	評価実習後のお礼状の作成やまとめ②				後藤 洋平
16回目	評価実習のまとめ①: 成果物や報告会資料の作成				後藤 洋平
17回目	評価実習のまとめ②: 成果物や報告会資料の作成				後藤 洋平
18回目	評価実習報告会①				PT 教員
19回目	評価実習報告会②				PT 教員
20回目	評価実習報告会③				PT 教員
教科書及び参考書	クエスチョンバンク 共通問題 クエスチョンバンク 専門問題				
成績評価	本試験(40%)、課題・小テスト(50%)、提出物(10%) 遅刻1回-1点、欠席1回-2点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
見学実習は主に理学療法士の業務形態や職域、医療機関の雰囲気など見学を中心に学んできたと思います。評価実習では学生が患者様に触れ評価し問題点を抽出し適切なアプローチを立案する能力が求められます。見学実習と比較し、到達目標が高くなっていますので受動的ではなく能動的に集中して講義に参加して下さい。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
評価実習に向けて実習の意義、レポート作成の方法、基礎知識の構築、理学療法士としてのマナーの習得、評価技術の向上を図ります。					